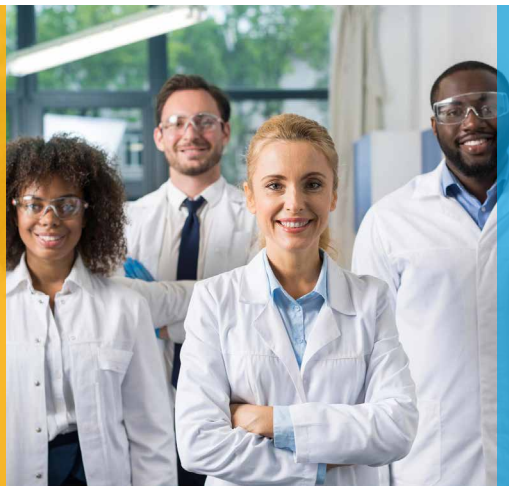
自動化レベルの向上

サンプル前処理から LC 分析、GC 分析まで

アジレントとメトラー・トレドの天秤ワークフロー



天秤の秤量結果とクロマトグラフィー結果のずれにお困りではありませんか？

アジレントとメトラー・トレドは、通常のラボプロセスのサポートはもちろん、再分析が必要となってしまうトラブルの根本的な原因を低減する統合ワークフローソリューションを共同開発しました。

この統合ソリューションにより、メトラー・トレドの LabX Balance ソフトウェアから Agilent OpenLab CDS へ秤量データとそのメタデータを自動的かつシームレスに転送することが可能になります。分析ワークフロー全体で手計算や手作業によるデータ転記の必要性がなくなるため、手作業によるエラー発生の可能性を大幅に低減でき、ラボワークの生産性が飛躍的に向上します。

サンプル前処理とラボのワークフロー

ラボの日常業務では、数多くのタスクが実行されます。サンプル前処理は特に要求が厳しく、時間のかかるタスクです。ラボでのエラーの半分は、サンプル前処理中に発生しています。手作業によるデータ転記もエラーが発生しやすく、メタデータなどの重要なサンプル情報が失われる可能性があり、秤量データの結果にも影響します。また、サンプル前処理プロセスと分析結果の間のトレーサビリティの低下につながります。結果として再分析が必要になることが多く、余分な時間がとられ、ラボの利益が失われることになります。

ラボでの作業時間の 60 % 以上が、サンプルの秤量、キャリブレーション標準の調製、コントロール標準の生成などのサンプル前処理に費やされています。

手作業によるサンプル前処理プロセス

現在、サンプル前処理の多くのステップは手動で実行されています。秤量紙上に計量した標準サンプルをメスフラスコに移しかえる一般的な方法は、紛失や汚染といったさまざまなマイナス面の原因となっています。一部の希釈ステップでは、機器のオートサンプラにサンプルをセットするために、オートサンプラに適応した容器形式（通常はセプタムバイアル）にサンプルを移し替える必要があります。

一連のサンプル処理と同時に、データ処理プロセスも実行しなければなりません。このプロセスでもかなりの量の手作業による転記が必要であり、メタデータやさまざまなラボ情報は多くの場合、紙のラボ日誌に手書きで記入されています。これはエラーが発生しやすい時間のかかる手順であり、規制対象ラボでは人による集中的なチェックが要求されるため、ラボの生産性が大幅に低下します。

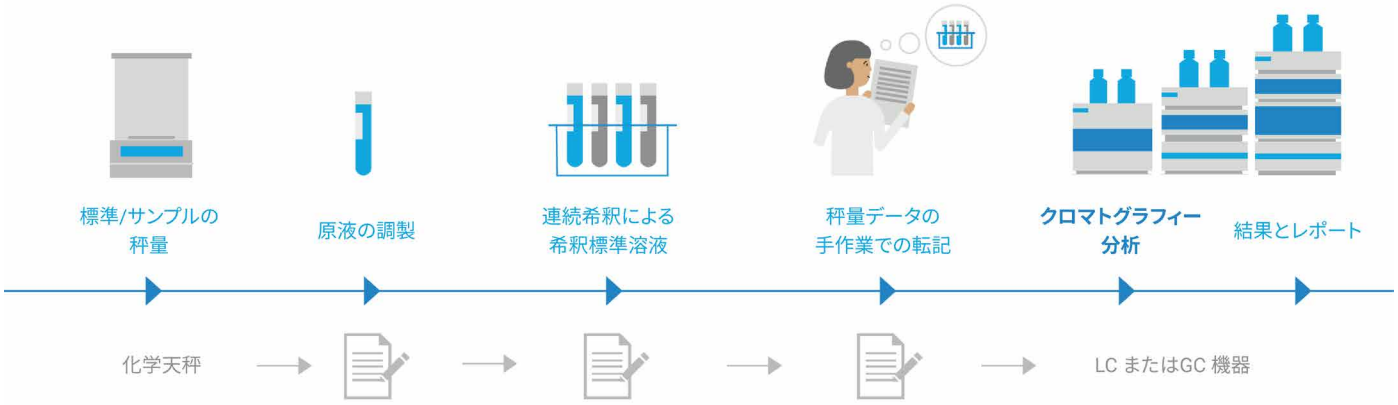
Agilent OpenLab

クロマトグラフィーラボを次なる次元へ

- 自動処理による生産性の向上
- 効率の最適化とエラーの削減につながるバーコード中心のプロセスの実装
- 手動転記が不要となる自動データ転送
- ターンアラウンドタイムの短縮

Agilent

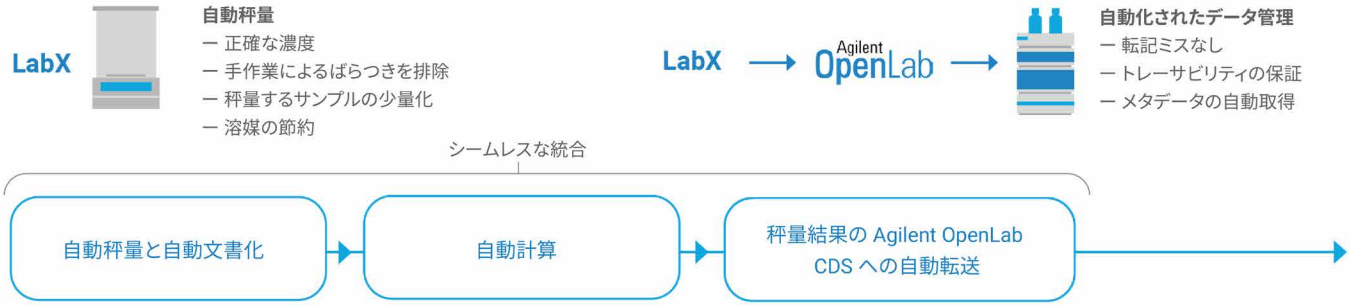
Trusted Answers



生産性を改善する統合ソリューション

アジレントとメトラー・トレドが開発した統合ソリューションにより、秤量データとそのメタデータを LabX Balance ソフトウェアから OpenLab CDS に自動的かつシームレスに転送できます。このソリューションではバーコードを活用することで、分析ワークフローの信頼性と生産性の向上と、優れたユーザーサポートを実現します。すべてのワークフローステップを、ID 入力またはバーコード読み取りによって管理できます。適切な秤量プロセスや、バーコード（オプション）でラベル化された標準サンプル作成が可能です。秤量情報とメタデータが、対応するサンプル ID とともに LabX から OpenLab に直接送信されます。容器に貼付されたラベルを読み取ることで、OpenLab は 1 つのサンプルに関する情報を送信できるほか、LC 分析や GC 分析のバッチプログラムを正確に作成し、ワンクリックで連続分析を開始することができます。

アジレントとメトラー・トレドが開発したワークフローソリューションは、現在のラボの主要な課題に対処するため、メトラー・トレドの天秤による秤量プロセスの自動化や、LabX から OpenLab への自動データ管理を実現します。さらに監査証跡により、21 CFR Part 11 に準拠したワークフロー全体のシームレスなドキュメント化が可能です。



詳しくは、お近くのアジレント販売店までお問い合わせいただくか、
次のサイトをご覧ください

https://explore.agilent.com/openlab-balance-integration-jp

ホームページ
www.agilent.com/chem/jp

カストマコンタクトセンタ
0120-477-111
email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、
医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

RA44697.3796643519

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2022
Printed in Japan, June 2, 2022
5994-5019JAJP

Agilent
Trusted Answers